

2025 年 10 月 8 日

各 位

会社名 河西工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長役員 古川 幸二
(コード番号：7256 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 専務役員 小川 耕一
(TEL：0467-75-1125)

2025 年 3 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月期決算短信を本日開示いたしましたが、当該開示が決算期末後 50 日を超えた理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が期末後 50 日を超えた理由

当社は、連結子会社である KASAI MEXICANA S.A. DE C. V. (以下「KMEX」)において 2023 年 3 月期及び 2024 年 3 月期に財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備があるとの開示を行っている状況を重く受け止め、2023 年 3 月期以降、KMEX の管理態勢の再構築及び内部統制上の課題解決に向けた取組みを続けており、2025 年 3 月期も、外部専門家のサポートを受け内部統制の強化を進めておりました。

このような中、2024 年 10 月に入り、KMEX において勘定科目ごとの総勘定元帳と補助簿の残高突合作業の中で、買掛金などの勘定科目につき、総勘定元帳と補助簿の残高に相違があることが確認され、KMEX 内での調査の結果、勘定科目残高に誤りがあることが判明しました。また新たに開始した四半期毎の会計帳簿と税務申告書の突合作業において、VAT (付加価値税) 勘定の残高の過去の誤りが判明しました。

2024 年 12 月に KMEX より本件の報告を受けた後、当社は、当社及び当社グループの経理人員を投入し、また、社内外の外部専門家 (IT 専門家、会計専門家) のサポートも受けながら、当社及び KMEX 会計監査人とも協議を繰り返し、調査・実態解明にあたってきました。これらの事象は、KMEX での 2022 年の基幹システム移行時に、システム運用や会計情報の移行等、十分な事前準備が行われなかったことに起因しており、その結果、調査・検証作業は、極めて多岐に渡る大量のデータの分析や、要件に見合った



データを過不足無く抽出、紐づけ、突き合わせることに、多大な時間を要することとなりました。

その結果、2025 年 3 月期決算短信の開示も、期末後 50 日を大幅に超えることとなりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、今回の事態を踏まえ、本社経理部門及び子会社管理機能を強化し、再発防止に取り組んでおります。2026年3月期につきましても、適切な情報開示に努めてまいります。2026年3月期第1四半期及び第2四半期の決算短信の開示につきましては、準備が整い次第、速やかに開示致します。

今回の決算開示の遅れにより株主、投資家をはじめとする関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

以 上